

ツバメのす

きそ
基礎①

ツバメのす

春になると、ツバメが南の国からやってきます。そして、人の家ののき下などに、すを作ります。

すのざいりようは、どろとかれ草です。ツバメは、田んぼなどからどろとかれ草を口にくわえてはこび、だえきでかためて、おわんのような形のすを作ります。

ツバメが人の家にすを作るのは、カラスやヘビなどのてきが、人のいるところには近づきにくいからです。

すの中では、ひなが大きな口をあけて、親が虫をはこんでくるのをまっています。

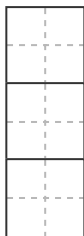
1 ツバメは、どこからやってきますか。



の国

2 すのざいりようは、どろと何ですか。

どろと



3 すは、どんな形をしていますか。

ア 三角の形

イ おわんのような形

ウ ボールのような形

4 ツバメが人の家にすを作るのは、どうしてですか。

ア 人に、えさをもらえるから。

イ てきが、人のいるところには近づきにくいから。

ウ 雨にぬれないから。